

# 平成 28 年度横須賀市商店街調査報告書

【お問合せ先：横須賀市経済部商業・市街地振興課 商業振興担当 TEL 046-822-8286】

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、市内商店街の現状や課題を把握し、今後の商業施策に活かすことを目的として、平成 19 年度から毎年度実施しており、今回は第 10 回目の調査となります。

また、商店街団体の負担軽減を図るため「詳細調査」は 3 年度に 1 回を目安とし、それ以外の年度は商店街団体の加入状況や空き店舗数など、商店街の基礎的な状況を把握する「簡易調査」を実施しています。（今年度は「詳細調査」）

### 2 調査の対象

商店会等の商店街団体全 83 団体(平成 28 年 6 月現在)を調査の対象としました。昨年度の調査後から解散があったため団体総数は昨年度より減少しています。

### 3 調査の方法

調査票は郵送により配布し、回答は郵送または F A X により回収しました。（一部聞き取りによる回答も実施。）

### 4 調査の期日

平成 28 年 6 月 1 日現在で実施しました。

### 5 回収の状況

83 団体からの回収数は 75 票、回収率 90.4%となりました。

（前回詳細調査：回収率 76.1%、昨年度：回収率 100.0%）

### 6 報告書中の表記

回答の構成比は小数第 2 位を四捨五入しているため、各構成比の合計は必ずしも 100%にはなりません。また、複数回答の質問では合計が 100%を超えることがあります。

### 7 商店街団体の基本特性

回答した 75 団体の基本特性(組織形態、組織規模)の分布は、次のとおりとなっています。

(1) 組織形態

75 団体の内訳は、振興組合(9 団体 : 12.0%)、協同組合(4 団体 : 5.3%)、任意団体(62 団体 : 82.7%)となっており、任意団体が大多数(82.7%)を占めています。

組織形態	団体数	構成比
振興組合	9	12.0%
協同組合	4	5.3%
任意団体	62	82.7%
合計	75	100.0%

(参考) 昨年度

団体数	構成比
9	10.2%
4	4.6%
75	85.2%
88	100.0%

(2) 組織規模(会員数)

会員数の内訳は、20 店舗未満(28 団体 : 37.4%)、20~49 店舗(27 団体 : 36.0%)、50~99 店舗(16 団体 : 21.3%)、100 店舗以上(4 団体 : 5.3%)となっています。会員数が 49 店以下の、比較的小規模の商店街が大多数(73.4%)を占めています。

会員数	団体数	構成比
20 店舗未満	28	37.4%
20~49 店舗	27	36.0%
50~99 店舗	16	21.3%
100 店舗以上	4	5.3%
合計	75	100.0%

(参考) 昨年度

団体数	構成比
39	44.3%
31	35.2%
14	15.9%
4	4.6%
88	100.0%

## II 調査の結果

### 1 商店街団体への加入状況

#### (1) 会員数

市内の商店街団体に加入している会員の合計は、2,720 店舗となっています。

1 商店街団体あたりの平均会員数は、36.3 店舗です。

#### (2) 未加入店舗数

商店街団体に加入しない未加入店舗の合計は、346 店舗となっています。

1 商店街団体あたりの平均未加入店舗数は、4.6 店舗です。

#### (3) 未加入率

商店街団体に加入しない未加入店舗の比率は、11.3%となっています。

$$346 \text{ 店舗} \div (2,720 \text{ 店舗} + 346 \text{ 店舗}) = 11.3\%$$

#### (参考) 昨年度

$$658 \text{ 店舗} \div (2,918 \text{ 店舗} + 658 \text{ 店舗}) = 18.4\%$$

### 2 現在の活動状況

現在の商店街の活動状況については、「新たな事業を企画するなど、活発に活動している」や、「毎年恒例の事業(イベントや売出しなど)のみで活動しており、停滞傾向である」など、イベント等の商店街活動を実施している団体(46.6%)は昨年度より増加し、4割を超えています。一方、「街路灯やアーケード等の維持管理のみを行っており、他の事業は行っていない」と回答した商店街団体(40.0%)があり、現状の活動維持で精一杯であることが窺えます。

(参考) 昨年度

項目	団体数	構成比	団体数	構成比
新たな事業を企画するなど、活発に活動している	13	17.3%	15	17.0%
毎年恒例の事業(イベントや売出しなど)のみで活動しており、停滞傾向である	22	29.3%	18	20.5%
街路灯やアーケード等の維持管理のみを行っており、他の事業は行っていない	30	40.0%	42	47.7%
特に活動しておらず、休止状態である	9	12.0%	13	14.8%
無回答	1	1.3%	0	0%
合計	75	100.0%	88	100.0%

### 3 商店街の景況

現在の商店街の景況（売上や集客）状況を昨年度同期と比較し、昨年度と同様の景況であれば全団体に変わらないという回答になるはずですが。しかし、「悪くなっている」という回答が17.3%、「やや悪くなっている」という回答が32.0%で、合わせて49.3%の商店街が昨年度に比べて景況が悪くなったと回答しています。また、「変わらない」という回答は38.7%と合わせると昨年同様約9割の団体に景況の停滞を感じていることが窺えます。一方で、「やや良くなっている」という回答が5.3%（4団体）あり、活路を見出し前年度より景況が良くなっていると感じている商店街もあることがわかります。

（参考）昨年度

項目	団体数	構成比	団体数	構成比
良くなっている	0	0.0%	0	0.0%
やや良くなっている	4	5.3%	4	4.6%
変わらない	29	38.7%	37	42.0%
やや悪くなっている	24	32.0%	22	25.0%
悪くなっている	13	17.3%	25	28.4%
無回答	5	6.7%	0	0%
合計	75	100.0%	88	100.0%

### 4 商店街が抱える問題や課題（複数回答）

店主の高齢化や後継者の減少など店舗の存続に関して課題を感じている団体が多く、次いで、イベント実施回数の減少や来街者の減少に課題を感じていました。

問題や課題	団体数
店主の高齢化、後継者の減少	42
商店街で催すイベントが減少	29
商店街への来街者の減少	29
街路灯・アーケード等共同施設の維持や管理	21
大型店舗と張り合える店舗が少ない	18
店舗の老朽化や空き店舗の増加等店舗の問題	12
消費購買力の低下（消費者の買い控え）	12
非会員（未加入店舗）や商店街活動に消極的な店が増加	5
駐車場・駐輪場不足	4
商品の値崩れ、安売りの進行・定着	2
特になし	8

## 5 商店街の財政状況

商店街の財政状況については、「予算が毎年余り次年度繰り越される資金が多い」8団体、「収支バランスが取れ計画通りの活動ができている」39団体、約6割以上が計画通りの事業を行えています。

しかし、「収入が不足しており十分な活動ができない」団体も21団体あり、約3割が十分な活動できていないと回答しています。

項目	団体数	構成比
収支バランスが取れ計画通りの活動ができている	39	52.0%
予算が毎年余り、次年度に繰り越される資金が多い	8	10.7%
収入が不足しており、十分な活動ができない	21	28.0%
無回答	7	9.3%
合計	75	100.0%

## 6 共同施設（アーケードや街路灯）の状況

7割以上の団体（73.3%）が共同施設を保有していると回答し、そのうち6割以上（67.3%）が施設に対する保険に加入していました。また、共同施設を保有している団体のうち、5年以内に施設整備の必要性を約半数（47.3%）が感じていることがわかりました。

共同施設の有無

保有状況	団体数	構成比
あり	55	73.3%
なし	16	21.3%
無回答	4	5.3%
合計	75	100.0%

保険の加入状況

項目	団体数	構成比
加入済み	37	67.3%
未加入	10	18.2%
無回答	8	14.5%
合計	55	100.0%

共同施設の整備の必要性

項目	団体数	構成比
整備の必要性を感じない	27	49.1%
さび等があり、5年以内に整備が必要	22	40.0%
腐食等があり、すぐに整備が必要	4	7.3%
無回答	2	3.6%
合計	55	100.0%

撤去費について

項目	団体数	構成比
費用の準備が万全	6	10.9%
準備はあるが、万全ではない	19	34.5%
全く準備がない	14	25.5%
無回答	16	29.1%
合計	55	100.0%

## 7 商店街活性化の取り組みについて（複数回答）

商店街活性化の取り組みについて、現在重点的に取り組んでいることは、未加入店舗への加入促進や地元自治体との連携など「組織運営や他団体との協力」に取り組んでいる団体が多く（64.0%）、次いでイベントの充実など商店街の「にぎわいづくり」に力を入れている団体（46.7%）が多いことがわかりました。

また、今後実施の必要性を感じているものは、防犯カメラなど防犯・防災を目的とした施設設置やアーケードなど「施設等の整備」を半数の団体（52.0%）が感じていました。なお、「組織運営や他団体との協力」の中では、今後空き店舗の解消や未加入店舗への加入促進に取り組む必要性を感じているという意見が多くありました。

	現在重点的に取り組んでいるもの		実施する必要を強く感じるもの	
	団体	構成比	団体	構成比
組織運営や他団体との協力	48	64.0%	38	50.7%
にぎわいづくり	35	46.7%	20	26.7%
施設等の整備	24	32.0%	39	52.0%
サービス・取り組み	9	12.0%	16	21.3%
その他	1	1.3%	1	1.3%

## 8 商店街のシニア・子育て世帯を対象にした取り組み（複数回答）

独自に何らかの活動をしている商店街は少なく、シニア（高齢者）を対象にした取り組みを行っている団体が10団体（13.3%）、子育て世帯を対象にした取り組みを行っている団体が4団体（5.3%）でした。また、どちらも実施していない団体が59団体（78.7%）を占めました。実施していない商店街団体の中には、各店舗でこのような取り組みを行っているため商店街として取り組んでいないという意見もありました。

（参考）昨年度

項目	団体数	構成比	団体数	構成比
シニアを対象とした取り組み	10	13.3%	9	5.7%
子育て世帯を対象とした取り組み	4	5.3%	6	6.8%
取り組み無し	59	78.7%	80	90.9%
無回答	8	10.7%		

## 9 外国人買い物客に対する対応について

約2割の団体で外国人買い物客に対し、機器等の整備を検討していることが分かりました。また、「利用・整備を考えていない」団体のなかでも、英会話教室を商店街で実施し英語の学習や、商店街内でドルの利用が可能な店舗を増やすなど取り組んでいる団体もありました。

項目	翻訳機器の利用		Wi-Fi 環境の整備	
	団体数	構成比	団体数	構成比
既に実施している	1	1.3%	1	1.3%
利用・整備を考えている	15	20.0%	12	16.0%
利用・整備を考えていない	50	66.7%	51	68.0%
無回答	9	12.0%	11	14.7%
合計	75	100.0%	75	100.0%

## 10 新規出店について

調査期日までの1年間で26商店街に新たに70店舗が出店し、そのうち52店舗が商店街に加入しました。新規出店者の商店街加入率は74.3%でした。

また、商店街加入への働きかけを6割の団体が出店者に行っていました。

## 11 商店街の空き店について

### (1) 空き店舗数

市内の商店街にある空き店舗の合計は、231店舗です。

1商店街あたりの平均空き店舗数は、4.2店舗です。

### (2) 空き店舗率

市内全域の空き店舗率は、7.0%となっています。

$$\frac{231 \text{ 店舗}}{\text{(空き店舗数)}} \div \frac{(2,720 \text{ 店舗} + 346 \text{ 店舗} + 231 \text{ 店舗})}{\text{(加入店舗数)} \quad \text{(未加入店舗数)} \quad \text{(空き店舗数)}} = 7.0\%$$

(参考) 昨年度

$$\frac{366 \text{ 店舗}}{\text{(空き店舗数)}} \div \frac{(2,918 \text{ 店舗} + 658 \text{ 店舗} + 366 \text{ 店舗})}{\text{(加入店舗数)} \quad \text{(未加入店舗数)} \quad \text{(空き店舗数)}} = 9.3\%$$

## 12 商店街の傾向（複数回答）

増加した業種があると回答したのは21団体、減少した業種があると回答したのは39団体、増減がなかった団体は43団体でした。小売業が減少したという商店街が多く、飲食店や医療・福祉が増加したという回答が多くありました。要因としては、店主の高齢化による閉店が増加したことや、高齢化により医療・福祉の必要性の高まりが影響していると考えられます。

項目	団体数	構成比	団体数	構成比
増加した業種	21	28.0%	36	40.9%
減少した業種	39	52.0%	43	48.9%
業種の増減はない	43	57.3%	36	40.9%

## 13 商店街の将来見通し

商店街の将来に対する見通しについて、「運営は順調であり、特に大きな不安はない」との回答は1.3%と、大多数の団体が運営に何らかの課題を抱えていることがわかります。

「課題はあるが現状を維持していきたい」という回答が62.7%で多数を占めました。一方で「今後、活動休止や解散も想定している」という回答は21.3%で、会員数の減少など組織力の低下に伴い、共同施設の維持管理が難しいなどの理由から、「存続は厳しく、他商店街との統合も検討したい」という回答は5.3%あり、約3割の団体で存続について課題を感じていることが分かります。

(参考) 昨年度

将来見通し	団体数	構成比	団体数	構成比
運営は順調であり、特に大きな不安はない	1	1.3%	1	1.1%
課題はあるが現状を維持したい	47	62.7%	60	68.2%
存続は厳しく、他商店街との統合も検討したい	4	5.3%	9	10.2%
今後、活動休止や解散も想定している	16	21.3%	18	20.5%
無回答	7	9.3%		
合 計	75	100.0%	88	100.0%



## 14 商店街の法人化について

「法人化する方向で、今後の方向性を検討している」という回答は5団体(6.7%)でした。「法人化するつもりはない」という回答は48団体(64.0%)あり、高い数値であることがわかります。主な理由としては、店舗の減少や店主の高齢化のほか、法人することで増加する事務や支出に耐えられないという意見がありました。

項目	団体数	構成比
既に法人団体	13	17.3%
法人化に向け準備を進めている	0	0.0%
法人化する方向で、今後の方向性を検討している	5	6.7%
法人化するつもりはない	48	64.0%
無回答	9	12.0%
合 計	75	100.0%

## 15 今後の商店街の将来像について

今回の調査で、将来像について回答のあった団体は33団体でした。その内訳は、先行き不安が19団体、現状維持が3団体、先行き期待が3団体、新しい方策を行っていききたい団体が2団体、世代交代が順調に進んでいる団体が4団体でした。

## 16 電気料金の契約プランについて

契約の変更を視野に入れ契約プランの比較を約1割の団体が行っていました。しかし、多くの団体が電力自由化後も従来の契約プランで契約を行っていました。

項目	団体数	構成比
プランを比較し、契約を継続した。	8	10.7%
プランを比較し、契約を変更した。	2	2.7%
プランの比較等をせず、契約を継続した。	50	66.7%
無回答	15	20.0%
合 計	75	100.0%

## 17 買い物弱者（住んでいる地域で日用品などの買い物が難しい人）への取り組み

「取り組みを考えている」という団体はすでに御用聞きのようなサービスを実施中のところもありました。また、「取り組みを考えていない」という団体の中でも、商店街内の店舗で実施しており、商店街として新たにに取り組むことは人員や費用の面から難しいという回答がありました。

項目	団体数	構成比
取り組みを考えている	8	10.7%
取り組みを考えていない	56	74.7%
無回答	11	14.7%
合計	75	100.0%

## 18 市補助への要望

市補助への要望は9件あり、補助制度についての要望が1件、補助対象に関する要望が5件、補助率に関する要望が3件でした。

## 19 市への意見等

今回の調査で、意見等自由記入欄に記入のあった件数は18件でした。

その内訳は、市への提案・提言が9件、活動状況に関するものが5件、ご意見が4件でした。